2022 年 7 月 1 日
株式会社フジミインコーポレーテッド

第 70 期定時株主総会における質疑応答（要旨）

2022 年 6 月 29 日(水)に開催いたしました当社第 70 期定時株主総会における質疑応答の要旨は以下のとおりです。

質問

航空産業向けおよび化粧品向けの新規材料開発等について、実用化・商品化時期と売上の見込み、市場規模についてお聞かせ願いたい。

回答者

代表取締役社長　関　敬史（議長）

回答

航空産業向け等の利用が期待される新規材料に関しては、軽量かつ高い耐熱性を持つ部材として、主に航空機の機体、エンジン関連の用途としてセラミックス複合材料の開発を進めており、航空機関連メーカー様にて数年前より当社開発品の評価をお願いしている状況。足元では、新型コロナウイルスの影響で国内外のお客様においてスケジュールに変更が生じ、また性能面での課題等も依然残っていることから、引き続き、品質改善、メーカー様へのサンプル提供等を行っていく所存。航空機部材の市場規模は裾野が広く、正確な算定が難しいが、数千億円規模と言われる航空機部材のうち、数%程度での利用が見込まれるのではと考えており、当社開発品が採用されれば、5 年、10 年後には数十億円の売上を期待し取り組みを進めている。

化粧品向け等の利用が期待される新規材料に関しては、現在リン酸チタンの開発・展開を進めている。具体的には、国内外の化粧品関連メーカー様へのサンプル提供に加え、化粧品向け以外でもその特性が活かせると考え、多岐に亘るお客様にサンプル提供を行っている。現段階では販売開始には至っていないが、その材料特性に関する様々な可能性について評価を頂いており、当社としては、応用展開を目指し、研究開発を重ねている。化粧品全体の市場規模としては非常に大きいが、リン酸チタンが使われる領域としては数十億円規模と考えており、当社としては、そのうちの一部で売上を創出していくことを期待している。

以　上